

令和 8 年度第 1 回石巻市地域公共交通活性化協議会
会議録

◆日時：令和 8 年 9 月 2 日（水） 午後 2 時 3 0 分から午後 4 時まで

◆場所：石巻市防災センター 2 階 多目的ホール

1. 開会

委員数 3 0 名のうち、2 6 名出席のため会議成立

2. 会長及び副会長の選任

姥浦道生委員を会長に、明日正紀委員を副会長に選出

（会長あいさつ）

皆様方ご存じの通り高齢化がかなり進んできており、車に乗れない方や免許返納される方が増加傾向にあります。通常バスや電車等の公共交通だけでは支えていくことが難しく、住民バス等の様々な施策が実施されています。

公共交通も含め、住民の交通手段をどのように確保していくのかということが課題になってきています。

その課題をどのように解決していくかを、計画の策定や計画の実行方法も含めて、皆様方と議論しながら、前に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 諮問

市長から会長宛に総合交通計画に関する諮問を実施した。

4. 市長あいさつ

5. 議事

(1) 石巻市総合交通計画に基づく目標の達成状況評価について

（説明：企画部地域振興課）

施策展開の方向性 1 移動しやすさ、アクセス性の向上

会長 最終的に外部評価 A B C D を協議会として決めるということでございますので、この後はまず皆様方から御質問、御意見をいただいた上で、外部評価 A B C D の判定について皆様方の御意見をお伺いし、おおきく意見が分かれた場合、議論した上で決めるという形にしたいと思います。例を挙げると 8 割の委員が A に挙手された場合、外部評価を A に決定する形となります。

会長 方向性 1 内の「路線網の市全体の公共交通体系の統合に向けた検討回数（会議）」や「運賃制度の改正に向けた検討回数（会議）」の会議を実施した結果、「路線バスの運行時間の見直し（拡大）を検討した路線数」が算出されたという理解でよいか。

事務局 「路線バスの運行時間の見直し（拡大）を検討した路線数」は石巻免許センター線及び蛇田線の統合が該当しており、こちらはミヤコーバスから見直しの検討として提案があったものであり、今回の場合は会議の開催と今回検討した路線数は関連づくものではありません。

会長 会議を実施したかどうかよりも、その会議で何を議論・提案したか等の結果が重要だと考えている。

委員 「交通系 IC カード等のキャッシュレス決済に対応した公共交通の路線の割合」について令和 7 年度まで実績値が 48.1%と変わっていないが、この理由を教えていただければと思います。

事務局 路線バス 12 路線及び仙石線 1 路線が既に導入されているが、それ以外の住民バスや仙石線以外の鉄道路線及び航路へのキャッシュレス決済の導入は導入費用や利用者数の面から導入が難しい状況にあることが原因です

委員 キャッシュレス決済の例で航路が例として挙げられましたので補足いたします。利用者からもキャッシュレス化に関して要望がある上、スタッフの負担軽減にもなるため、対応したいとは考えているが、多額の費用がかかるうえ、収支に結び付くかが不明であることから、航路での導入は難しいと考えている。

委員 「路線バスの運行時間の見直し（拡大）を検討した路線数」の内容に記載がある、「運転手不足に伴い全体として減便となった」という記載について伺いたい。需要はあるのに運転手不足での減便か、需要がないから運転手不足に伴って縮小するから減便かで大きく印象が異なるため、説明を伺いたい。

事務局 全体的な減便についてですが、「蛇田線」「石巻免許センター線」「石巻日赤線」は経路が似通っており、今回の統合により「石巻免許センター線」がより効率的な運行ができることから「石巻日赤線」は減便となり

ました。また「河北線」及び「鹿妻線」は利用状況に応じて減便する形です。

委員 石巻線の IC カードによるキャッシュレス決済化について実施する予定があるのか伺いたい。

委員 石巻駅長として説明させていただく。市や住民から要望が続いており、石巻駅でも会社に要望を上げている状況であるが、本社でなければ解決できない問題であるため、上申しているような状況である

会長 それでは、他に特段御意見ないようですので、ただいま御説明いただきました、方向性 1 の外部評価につきまして、全体としての評価をお伺いしたいと思います。

【挙手の結果、外部評価は「B」と決定した。】

施策展開の方向性 2 公共交通を待ちやすい利用環境の確保

委員 達成率について、推進できなかった理由があれば伺いたい。

事務局 「ガイドラインに沿って案内が設置された駅・バス停の数」についてですが、施設管理者・交通事業者等との調整、各施設の構造・設置条件等の整理及び費用対効果の検証等を行った結果 3 か所の整備にとどまったもの。「ベンチや上屋を新たに設置したバス停の数」及び「鉄道駅の駐輪場の改良箇所数」については駅前等の影響が大きい箇所に設置・整備の実績はあるが、他箇所については費用対効果の面から新規設置は難しい状況にあるため、進展していない状況です。

会長 他に特段御意見ないようですので、ただいま御説明いただきました、方向性 2 の外部評価につきまして、全体としての評価をお伺いしたいと思います。

【挙手の結果、外部評価は「C」と決定した。】

施策展開の方向性 3 公共交通志向型の都市への転換に向けた仕組みづくり

委員 「市民とのテーマ別の意見交換会の開催件数」について西高の生徒と意見交換したようだが、何人出席し、どのような意見が出たか伺いたい。

事務局 石巻西高校と行った事業は、西高校の生徒に課題を与え、生徒がその解決策を考えるといった内容になります。今回の課題は「JR石巻線の利用者を増やそう」という課題でした。この課題に西高校の生徒5名が挑み、「石巻線巡りスタンプラリー」を実施してはどうかというご提案を受けました。

委員 鉄道の利用者を増やすためには高校の利用者数を増やすことも重要であると考えている。高校生における公共交通の利用者を把握するためのアンケート調査は実施しないのか。

事務局 新たな交通計画の策定のために、各高校にアンケート調査を実施しております。

委員 「市民とのテーマ別の意見交換会の開催件数」について、昨年度の評価の際に年1回の目標って少ないのではないかという意見が出ていたかと思うが、算出方法内に高齢者、障害者、学生で既に3種類の方々の記載があるため、その方々に年1度意見交換の場を設けることを考えても、年3回は目標として必要になると思うがいかがか。年に1回、学生と意見交換して達成100%というのは納得がいかない。我々の団体では精神障害をお持ちの方の移動支援を実施しているが、抱える課題は異なるため、広く意見交換の機会を設ける必要があるのではないか。

事務局 計画を策定した時点では年1回というような方向性で目標を定めておりましたが、移動ニーズも変わってきているというような状況にあるため、年に1回は少ないということは認識しております。

より良い計画実施のためには多様な意見を徴収しなければならないと考えておりますので、新たな交通計画を策定する際に目標値は修正したいと考えております。

委員 「市が支援するモビリティマネジメントの実施事業所数」について、モビリティマネジメントを周知するチラシを配布したということだが、具体的にどのように企業団体を訪問したか。訪問したのであれば、配布手段はどのように実施したのか伺いたい。

事務局 令和 6 年度には市内企業や団体を訪問して、周知を行ってまいりました。一方で令和 7 年度においては効果的なモビリティマネジメントを実施するための手法を検討してまいりましたが、配布には至っておりません。そのため、訪問は行っておりません。

委員 承知した。例えば、我々も会社で飲食業を経営している中で、高校生アルバイト等の公共交通を使う従業員もおり、そういった企業に幅広く周知していただければ、モビリティマネジメントにご協力できるかと思えますので、ご相談いただければと思います。

会長 市職員を対象にした公共交通の利用促進を長年実施しているが、何か変化はあるか。

事務局 長年取組んでいる状況ですが、各々の家庭の事情等もありまして、数値的な伸びは確認できていない状況です。

会長 他に特段御意見ないようですので、ただいま御説明いただきました、方向性 3 の外部評価につきまして、全体としての評価をお伺いしたいと思います。

【挙手の結果、外部評価は「B」と決定した。】

施策展開の方向性 4 公共交通に関する情報提供の多様化・デジタル化

委員 「市内の全ての公共交通モードにおいて GTFS-JP での運行情報の作成・更新の体制の構築件数」及び「主要な経路検索コンテンツでの市内公共交通の対応状況」について補足します。

県と協力して GTFS データの作成をしており、現在 Google への審査をしている段階で、もうすぐ反映できるかと思われる。

会長 他に特段御意見ないようですので、ただいま御説明いただきました、方向性 4 の外部評価につきまして、全体としての評価をお伺いしたいと思います。

【挙手の結果、外部評価は「B」と決定した。】

施策展開の方向性 5 公共交通の安定的な運営に向けた基盤の確保

委員 「国や県に対する公共交通の確保・維持に係る財源の要望活動」について、実際に財源は増えたか伺いたい。また、「乗務員確保に向けた求人情報等の市報への掲載などによる周知活動」について、実際にタクシー業界やミヤコーバスに運転手が増えているかどうか伺いたい。さらに「公共交通等の安全運行に関する研修会の開催」について、研修会の参加人数はどの程度か教えてください。

事務局 1つ目の国県への要望活動について、国からいただいている補助金を拡大して欲しいというような要望を実施しており、実際に路線バス等において、期限が限られていた補助要件が延長されており、本来であれば来年度以降は打ち切られていた補助が継続されております。

2つ目の乗務員の確保に向けた求人については、求人広告自体は市でもホームページやSNSに掲載支援をしておりますが、実際に応募数が増えたかどうかまでは把握できておりません。

3つ目の交通安全大会の出席者ですけれども、関係者約140名の出席とといったような状況でございます。

委員 求人情報等の周知活動で応募数等までは把握できていないということだが、周知活動をしても、どの程度成果が出ているのかを把握しないと、改善や反省ができないのではないかと思います。いかがか。

事務局 委員から指摘を受けたとおりであると思われるため、今後、ミヤコーバスやタクシー会社に周知している効果を調査させていただき、成果を把握していきたいと考えている。

委員 ミヤコーバス全体でみると、石巻営業所が一番充足率が高く、人が増えている事業所である。

しかし全体でみると、人手が不足していることから、人手不足の事業所に石巻から手伝いに出している。石巻市のご協力で、8月も2人入社しているため、事業所として考えれば石巻は充足している状況。

委員 「公共交通等の安全運行に関する研修会の開催」について、1回達成したということで100%になっている。交通安全大会は1種免許の方に向けて行われているものであり、カーシェアリング等の移動サービス事業者向けとして、交通安全大会は開催件数に含めてもよいと考えている。

しかし交通安全大会は、2種免許を取得している交通事業者向けに行

われているものではない。交通事業者は、整備管理者、運行管理者、朝のアルコールチェック等の厳しいチェックを運輸局から受けており、普段からそういったチェックを実施していない方向けに行われる研修を交通事業者の研修として実施したものとしては扱わず、別途考えていただきたい。

事務局 実際にプロとして公共交通に携わっている方々とカーシェアリング等のボランティアドライバーの枠組みの違いは、こちらとしても認識しております。

そういったプロの方々に向けた交通安全に関する研修・啓発も考えていかなければならないと感じているため、今後検討してまいりたいと考えております。

会長 他に特段御意見ないようですので、ただいま御説明いただきました、方向性 5 の外部評価につきまして、全体としての評価をお伺いしたいと思います。

【挙手の結果、外部評価は「A」と決定した。】

(2) 牡鹿地区市民バスの運行登録の更新について

(説明：牡鹿総合支所地域振興課)

委員 運行内容について更新前後で何か変更点などがあれば、教えてください。

事務局 更新前後で変更箇所はございません。運行登録期限が来るため、これまでと同じ内容で更新するといった内容となります。

6. その他 石巻市総合交通計画の改定について

(説明：企画部地域振興課)

委員 タクシー会社の廃業が相次ぐということで、新聞に池田委員の記事が掲載されておりました。これに「石巻市にカーシェアの利用料と同額の 500 円程度の運賃でタクシーを出すと申し出ているが、話し合いに至っていない。通常運賃と比べれば赤字だが、少しでも収入を増やしたいし、運転手のやりがいにつながる」との記載があるが、どの程度まで話し合いが進んでいるか教えていただけないか。

委員

現在、石巻旧市内に 14 社あったタクシー会社が 11 社となった。

昨年だけで 2 社廃業しており、タクシー業界として大変厳しい状況になっている。東日本大震災があったときから人口が 3 万人も減っているし、景気が落ち込んでいることから、タクシーを使えなくなってきたという理由もある。このような大変厳しい状況にある中で、タクシー会社をこれ以上廃業させられないため、市内のタクシー会社を分析したところ、午前中の乗車が少なくなっていた。特にカーシェアを実施している地区内でのタクシー利用が極端に少なくなっている状況であった。

カーシェアを実施している地区でタクシー運行が少なくなっているのであれば、タクシー側でも地域コミュニティに協力させてほしいと市に提案している。

お客様からいただく料金と市からの助成金があればカーシェアと同じ基準でタクシー会社でも運行可能であると市の保健福祉部と話し合いも行っておりますが、うまくいっていないのが現状です。

委員

市の方も助成金を出す関係もあるが、タクシー業界の助成をしていただいて、住民の暮らしに直結した交通を考えてほしい。

会長

計画の内容が「総合交通計画」との位置づけであり、「地域公共交通計画」ではないので、総合交通を見据えた計画にしていかなければならないと考えている。

何をもって総合的かというと、1 つ目はモビリティを横断する計画であるという点。バス、鉄道、タクシー、自転車、カーシェアを横断的に考えていく必要がある。

2 つ目は、市役所内の部門、分野を横断的に考えるという点。先ほどの話にもありましたが、「これは福祉分野なので、交通ではありません」という話ではないと思うので、交通という観点の他に中心市街地の活性化や観光イベント等、多分野の事業とどう連携させていくか考えてほしい。

3 つ目が 2 つ目とも連動するが、主体を横断的に考えていく必要があるだろうという点。バス事業者、タクシー事業者、個人も含め、どう本当の意味で総合化していくのかというところが重要である。狭い意味でのバスと鉄道、タクシーをそれぞれどうするかという話ではなく、公共交通を総合的に連携させていくことを検討してほしい。

これらが地域公共交通計画と総合交通計画の差だと思われるので、まずは検討してほしいと考えている。

その他 委員から

委員 机上にチラシを配布しておりますが、東北運輸局の主催でお出かけ交通博を毎年度実施しております。

今年は 10 月に秋田で開催予定となっており、どなたでもご参加いただける交通のイベントになっておりますので、ぜひご参加いただければと思います

7. 閉会

会議後に提出された「石巻市総合交通計画に基づく各施策に対する意見書」
(9月11日提出期限)

施策展開の方向性	意見
5 公共交通の安定的な運営に向けた基盤の確保	公共交通等にカーシェアリングが含まれていること自体が疑問である。交通安全大会一回の開催が目標値としていることが安易である。安全安心が第一でプロでない運転者の金銭授受問題、市は慎重にこの事業を考えるべきである。

石巻市地域公共交通活性化協議会 委員名簿（敬称略）

番号	分類	氏 名	役職名	備考
1	民	遠藤 国男	石巻市町内会連合会委員	
2	民	小関 薫	河北地区行政委員会大川地区副代表	
3	民	高橋 守次	雄勝地区住民バス運行協議会会長	欠 席
4	民	女川 清一	河南地区乗合タクシー運行協議会会長	
5	民	細川 広	桃生地区行政委員会副会長	
6	民	佐藤 壽彦	北上地区住民バス等運行協議会副会長	欠 席
7	民	石森 清孝	牡鹿地区行政区長会大原行政区長	欠 席
8	民	伊藤 大悟	石巻市PTA協議会理事	欠 席
9	民	箕田 朗子	特定非営利活動法人障がい者ベース石巻によっきり団代表	
10	民	高橋 智恵	特定非営利活動法人やっぺす事務局	
11	民	三谷 れい子	石巻市老人クラブ連合会理事	
12	民	清水 真理子	石巻を考える女性の会副会長	
13	民	今野 啓夫	社会福祉法人石巻市社会福祉協議会雄勝支所長兼北上支所長	
14	民	小山 和恵	東北運輸局宮城運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官	
15	公	西脇 静夫	東北地方整備局仙台河川国道事務所石巻国道維持出張所長	
16	公	阿部 博敬	宮城県企画部地域交通政策課地域鉄道担当課長	
17	公	長谷川 征二	宮城県東部地方振興事務所地方振興部長	
18	公	保土原 真	宮城県東部土木事務所技術副参事兼総括次長	
19	公	笹本 忠嗣	宮城県石巻港湾事務所総括技術次長	
20	公	泉 知空	宮城県石巻警察署交通課長	代 理 出 席
21	公	門間 徹也	宮城県河北警察署交通課長	
22	民	及川 佳洋	株式会社ミヤコーバス執行役員仙台・石巻地区支配人	
23	民	池田 憲彦	一般社団法人宮城県タクシー協会石巻支部支部長	
24	民	安倍 洋平	網地島ライン株式会社代表取締役	
25	民	三笠 亜希子	東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター副所長（石巻駅長）	
26	民	川村 英章	宮城県交通運輸産業労働組合協議会 特別幹事	
27	民	姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所教授	
28	民	工藤 周平	石巻専修大学経営学部教授	
29	内	今野 正太郎	石巻市建設部長	
30	内	明日 正紀	石巻市企画部長	